

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	<p>(1) 教育（教室不足）環境の改善－100%達成。 8教室、264名吸収する。</p> <p>(2) トイレや排水溝等衛生環境の改善－100%達成。</p> <p>(3) 地域の待機児童生徒の救済－当初の目標180%達成。 50名救済予定が90名を救済した。</p> <p>(4) 建物の維持管理のためコミュニティの組織化は、 21名構成で僧院付属学校管理委員会を結成した。</p>
(2) 事業内容	<p>主な事業内容として…</p> <p>(1) 新校舎ならびにトイレ建設 新校舎の規模は、R.C構造2階建て8教室（定員256名） で、トイレ（先生用1穴、女子用2穴、男子用2穴、男子 小水用）に受水槽や浄化槽等を併せて建築する。</p> <p>(2) 什器備品（黒板8面、先生の机・椅子8組、児童生徒の 机・椅子128組（2人掛け））を設置する。</p> <p>(3) 新校舎周りに排水溝（グレーチング蓋）を構築する。</p> <p>(4) 渡り廊下（校舎からトイレ）を構築する。</p>
(3) 達成された効果	<p>上位目標に対して…</p> <p>(1) 教育（教室不足）環境の改善 定員256名で、教室不足を解消した。</p> <p>(2) トイレや排水溝等衛生面環境の改善 校舎周りの排水溝に安全性（グレーチング蓋設置）を重 視した。</p> <p>(3) 地域の待機児童生徒の救済 本案件では、6月1日始業日に待機児童生徒や編入生等 含めて461名の受け入れを予定していたが、新校舎開 校日に児童生徒の総数は501名に達した。 待機児童生徒は50名の救済を予定していたが、低所得 者の増加により、90名を受け入れることになった。</p> <p>(4) 建物の維持管理のためのコミュニティの組織化 7月から役割分担と毎月150,000Kyat（約15,600円） を銀行口座を開設して積み立てを開始した。</p>

(4) 持続発展性

(1) 新校舎維持管理…

地域コミュニティの組織化を図る。

僧院付属学校管理委員会を設立して21名で構成する。

役割分担を決め、定期的に校内を巡回する。

補修工事に必要財源は、毎月150,000Kyat(約15,600円)を積み立てる。

責任をもって維持管理に努める事を確約する。

定期的に効果検証のモニタリングを実施する事に合意する。

毎年、僧院付属学校運営に関するレポートを提出する。

(2) 教育環境の整備…

初等教育の学習環境の改善に取り組む。

現在ミャンマーの初等教育は暗記暗唱型教育であり、児童中心型基礎教育“CCA”を独立行政法人国際協力機構が、外務省より請け、ミャンマー政府教育省管轄の公立学校や教育大学中心に導入し研修を実施している。

ミャンマー政府宗教省管轄の僧院付属学校等は、対象外になっている。

当協会は児童達の興味や関心に基づく能動的な学習活動を展開する教育ガイダンスの研修ワークショップを開催することに合意した。